

# エコアクション21

## 環境経営レポート

(第29期：2022年10月～2023年9月)

発行NO：第14号



株式会社ライターム

発行日：2023年11月22日

## 目次

- 1. 組織概要 1
- 2. 対象範囲 1
  - 体制図 2
- 3. 環境経営方針 4
  - 短期目標と中・長期目標 5
- 4. 第 29 期の主要な環境経営計画（具体的取組内容） 6
- 5. 29 期の環境経営目標と実績 7
  - 29 期の環境経営計画の取組結果とその評価 8
  - 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 9
- 6. 第 30 期の環境経営目標と計画/責任者(期間：2023/10/~2024/10) 11
- 7. 代表者による見直し結果 12

## 1. 組織概要

### (1) 事業所及び代表者氏名

事業所名：株式会社ライターム

代表者氏名：代表取締役 岩崎 智

### (2) 所在地：

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 1-28-10 三慶ビル7階

### (3) 環境管理責任者氏名：

総務部部长 栄 恒一

連絡先TEL：03-5287-5900 FAX：03-5287-5910

### (4) 事業概要：

業務アプリケーションソフトウェアの開発業務

インフラ・ネットワークシステムの構築業務 等

### (5) 事業規模：(2023年9月末現在)

売上：3,446 (百万円) (第29期)

従業員数：264名

項目	単位	本社
床面積	m <sup>2</sup>	293.01

## 2. 対象範囲

### (1) 認証・登録の業務：

業務アプリケーションソフトウェアの開発業務

インフラ・ネットワークシステムの構築業務 等

### (2) 認証・登録の範囲

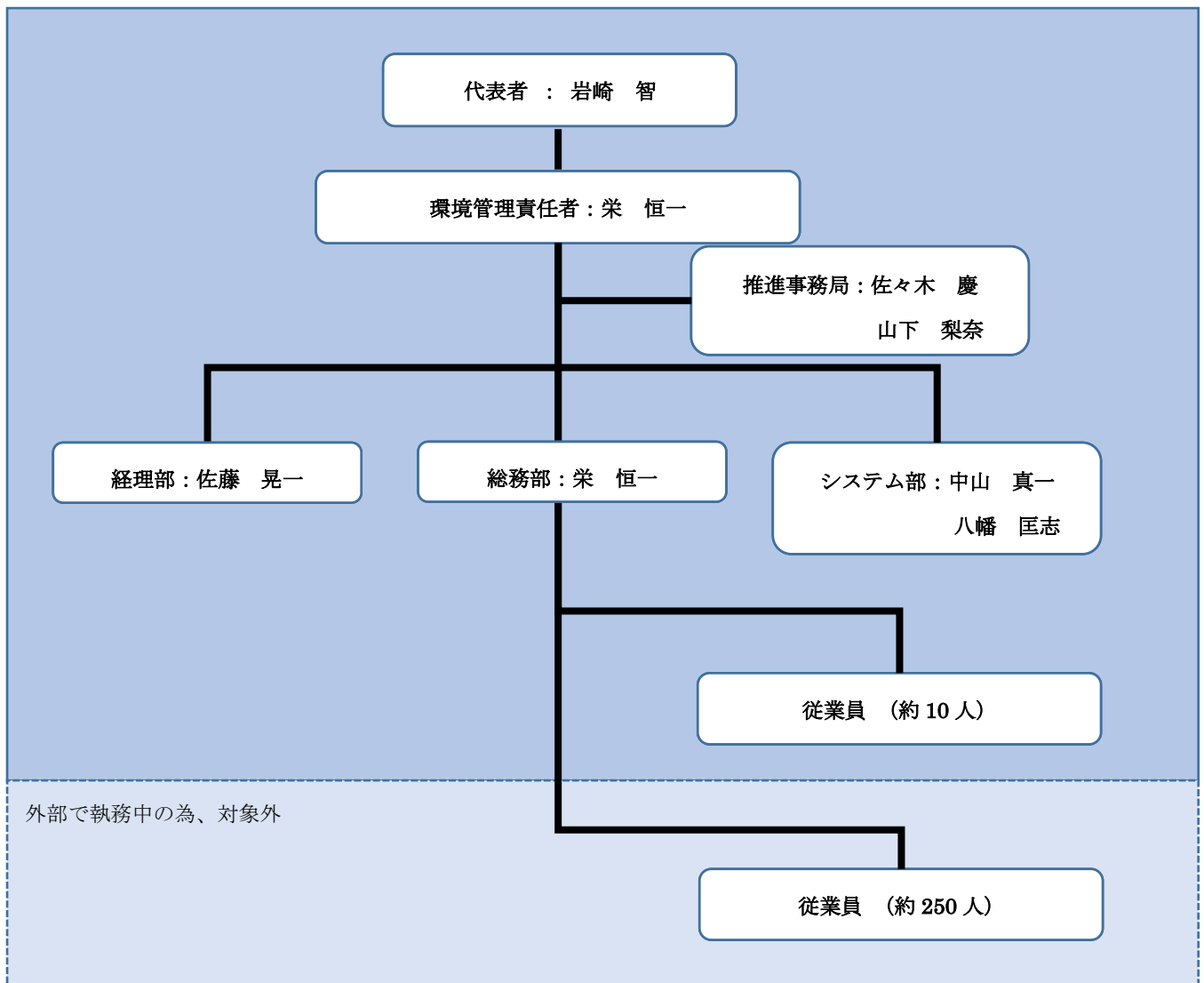
本社：東京都新宿区高田馬場 1-28-10 三慶ビル7階

### (3) 活動レポートの対象期間及び発行日：

対象期間：2022年10月から2023年9月

発行日：2023年11月22日

# 体制図



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任。</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化。</li> <li>・<b>全員参加の実施体制を整備。</b></li> <li>・環境経営システムの実施に必要な経営資源（人(時間、技能、知識)、もの(設備、インフラ)、資金(設備投資、教育投資)、情報(顧客ニーズ、技術情報)など)の用意。</li> <li>・環境管理責任者を任命。</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。</li> <li>・環境経営レポートの承認。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>・環境関連法規制管理台帳を承認。</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認。</li> <li>・環境経営の取組結果を代表者へ報告。</li> <li>・環境経営レポートの確認。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局。</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。</li> <li>・環境経営の実績集計。</li> <li>・環境関連法規制管理台帳の作成、定期的な確認。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>・事務局部門の環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付け等）。</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施。</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知。</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理。</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。</li> <li>・緊急事態への対応のためのテスト、訓練を実施、記録の作成。</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加。</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

環境方針：EA21-A01-12



## 環境経営方針

#### 【環境基本理念】

株式会社ライトーム(以下、「当社」と記す。)は、『取引先企業の右腕となり、パートナーとして信頼される会社』となることを目指しています。そして当社SEは、お客様にご満足いただける高品質のサービスをご提供することを念頭に置き、ご協力させていただいております。

「お客様にとって何が一番必要であるのか？何がお客様に喜んでいただけるものなのか？」というテーマをもとに、お客様にとって付加価値のある最適なソリューションを提供するためにも、お客様との信頼関係を築きあげていく事が企業の使命と考えています。

そのため、地球環境に配慮しない企業はパートナーになり得ないとの認識に立ち、『企業活動のあらゆる面において地球環境の保全に努め、持続可能な発展を目指す』ことを基本理念とします。

#### 【行動指針】

当社は、ITに関わるシステムインテグレーションサービス、システム運用、コンサルティングサービスに伴う環境影響を認識し、下記の行動指針に基づき全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

1. 当社の活動、商品、サービスに係る環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、経営における課題とチャンスと踏まえた環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
2. 当社の活動、商品、サービスの環境側面に係る法規、規制、協定等を順守するために自主基準を設け管理する。
3. 当社の活動、商品、サービスに係る著しい環境側面のうち、以下の項目を環境重点テーマとして取り組む。また、1年に1回見直しを行う。
  - ①省エネルギーの推進(CO2削減)
  - ②廃棄物の4R(減量、再使用、再利用、購入拒否)の推進
  - ③節水の推進
  - ④グリーン購入の推進
  - ⑤廃棄物の削減、省資源、省エネルギーに貢献するシステム開発の推進
4. この環境方針の達成のため、企業活動に根ざした行動目標を設定し、当社内の部門の全ての従業者をあげて環境活動を推進する。
5. 教育訓練・日頃の活動を通じて、環境意識を高め、全ての従業者で環境活動に取り組むとともに、地域社会との協調をはかり、積極的な情報開示とコミュニケーションを行う。

制定日：2010年10月1日

改訂日：2019年 1月1日

株式会社 ライトーム

代表取締役

右崎 智 

短期目標と中・長期目標

当社における第16期（2009.10～2010.9）の実績を把握し、第29期から31期までの目標を設定。

項目	基準年度	短期目標	中・長期目標	
	16期 2009.10～2010.9	29期 2022.10～2023.9	30期 2023.10～2024.9	31期 2024.10～2025.9
1. 電力の削減 ・電力 ※21期より電力排出係数を0.525へ変更する予定。また、事務所統合に伴い、目標値を再設定済。	42,358kg-CO2 ※電力排出係数=0.525kg-CO2/kWh (東京電力エナジーパートナー) ⇒42,358kg-CO2	17,367 kg-CO2 基準年度より 59.0%削減	16,943 kg-CO2 基準年度より 60.0%削減	16,520 kg-CO2 基準年度より 61.0%削減
2. 自動車燃料の削減 ・ガソリン	4,315kg-CO2	3,668 kg-CO2 基準年度より 15.0%削減	3,625 kg-CO2 基準年度より 16.0%削減	3,582 kg-CO2 基準年度より 17.0%削減
3. 一般廃棄物の削減 ・可燃ごみ ・不燃ごみ	※2014.10目標値見直し(20期の廃棄物量(0.267kg)×0.99)	0.241 kg/1人日 20期(実績)より 10.0%削減	0.238 kg/1人日 20期(実績)より 11.0%削減	0.235 kg/1人日 20期(実績)より 12.0%削減
4. 水道水の削減 ※本社移転に伴い、21期より水道検針が無くなるため、啓蒙活動に切り替え。	105 m <sup>3</sup>	- ※啓蒙活動実施予定	- ※啓蒙活動実施予定	- ※啓蒙活動実施予定
5. グリーン購入 ※21期より、目標を個数ではなく割合に切り替え、目標値を購入品目の50%とした。		グリーン購入品目割合：60%※推奨目標(基準年度比120%)	グリーン購入品目割合：60%※推奨目標(基準年度比120%)	グリーン購入品目割合：60%※推奨目標(基準年度比120%)
6. 製品・サービスの推進 ・ソフトウェア開発の品質の向上による作業工数の削減	なし	ISO9001 認証継続： 平均残業 37.0H 以下 ※ISO9001 の目標である稼働管理を目標とする、平均稼働が削減されることで、電力消費量を押しさせることが可能。	ISO9001 認証継続： 平均残業 36.4H 以下 ※ISO9001 の目標である稼働管理を目標とする、平均稼働が削減されることで、電力消費量を押しさせることが可能。	ISO9001 認証継続： 平均残業 36.0H 以下 ※ISO9001 の目標である稼働管理を目標とする、平均稼働が削減されることで、電力消費量を押しさせることが可能。

#### 4. 第29期の主要な環境活動計画（具体的取組内容）

（2022年10月～2023年9月）

	環境目標	活動計画－具体施策－
1.	電力の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ目標説明</li> <li>・節電運動展開</li> <li>・不要照明の消灯</li> <li>・使用しない時のPCモニター電源OFF</li> <li>・クールビズ、ウォームビズ運動</li> <li>・冷房28℃ 暖房20℃設定</li> </ul>
2.	自動車燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車燃費向上目標の説明</li> <li>・アイドリングストップ</li> <li>・急加速・急停車の防止</li> <li>・交通状況に応じた速度で一定速度走行の心がけ</li> <li>・冷暖房の控え目使用</li> </ul>
3.	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物削減目標説明</li> <li>・裏紙使用</li> <li>・ミスコピーの防止</li> <li>・分別による古紙のリサイクル化</li> <li>・両面印刷</li> <li>・マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進</li> <li>・ごみの分別の徹底</li> <li>・ペーパーレス会議の推進</li> </ul>
4.	水道水の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水削減目標説明</li> <li>・節水の呼びかけ</li> </ul>
5.	グリーン購入 ・事務用品・備品等購入額に占めるエコマーク等環境ラベル認定品の購入比率を拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入の周知および購入</li> <li>※グリーン購入商品対象 グリーン購入法適合商品・マーク、GPNデータブック掲載・マーク、エコマーク、グリーンマーク、非木材紙マーク、牛乳パック再利用マーク、PETボトルリサイクル推進マーク、省エネマーク、国際エネルギースター、エコ・アスクルマーク</li> </ul>
6.	製品・サービスの推進 ・ソフトウェア開発の品質の向上による作業工数の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO9001 認証継続</li> <li>・稼働削減に対する意識付け</li> <li>・生産性の向上</li> <li>・客先責任者への働きかけ (PJリーダー、営業サイドより実施)</li> </ul>



## 5. 第29期の環境目標と実績(期間：2022/10/～2023/9)

項目	基準年度	目標	実績	
	16期 2009.10～2010.9	29期 2022.10～2023.9	29期 2022.10～2023.9	達成状況
1. 電力の削減 ・電力	42,358kg-CO2	17,367 kg-CO2 基準年度より 59.0%削減	14,199 kg-CO2 ※数値比較 28期：13,480kg-CO2 (出勤日/従業員数増加のため)	○
2. 自動車燃料の削減 ・ガソリン	4,315kg-CO2	3,668 kg-CO2 基準年度より 15.0%削減	0kg-CO2 ※数値比較 28期：159kg-CO2	○
3. 一般廃棄物の削減 ・可燃ごみ ・不燃ごみ	0.267 kg/1人日 ※2012.10目標値見直し	0.241 kg/1人日 20期(実績)より 10.0%削減	0.145 kg/1人日 ※数値比較 28期：0.208kg-CO2	○
4. 水道水の削減 ・下水道	105 m <sup>3</sup> ※2014.10より検針なし	- ※啓蒙活動実施予定	-m <sup>3</sup> ※2014.10より検針なし	○
5. グリーン購入 ・事務用品・備品等 購入額に占めるエコマーク等環境ラベル認定品の購入比率を拡大	購入割合：50% ※2014.10目標値見直し	グリーン購入品目割合：60%※推奨目標 (基準年度比120%)	購入割合：58% ※数値比較 28期：(購入割合)44%	△
6. 製品・サービスの推進 ・ソフトウェア開発の品質の向上による作業工数の削減	なし	ISO9001 認証継続： 平均残業 36.4H 以下 ※ISO9001 の目標である稼働管理を目標とする、平均稼働が削減されることで、電力消費量を押さえることが可能。	ISO9001 認証継続 平均残業 25.6H	○

【達成状況】： 目標達成：○ 目標未達：× 準備期間中：-

第29期(2022.10～2023.9)の二酸化炭素総排出量は14,199kg-CO2です。

## 第 29 期の環境活動計画の取組結果とその評価

	環境目標	取組結果	評価	理由
1.	電力の削減	・省エネ目標説明	○	目標を達成できており、活動を継続する。
		・節電運動展開	○	
		・不要照明の消灯	○	
		・使用しない時の PC モニタ電源 OFF	○	
		・クールビズ、ウォームビズ運動	○	
		・冷房 28℃ 暖房 20℃設定	○	
2.	自動車燃料の削減	・自動車燃費向上目標の説明	○	目標を達成できており、活動を継続する。
		・アイドリングストップ	○	
		・急加速・急停車の防止	○	
		・交通状況に応じた速度で一定速度走行の心がけ	○	
		・冷暖房の控え目使用	○	
3.	一般廃棄物の削減	・一般廃棄物削減目標説明	○	会社リフォーム/出社人数が少ないため、目標を達成できていないが、活動は実施出来ている。
		・裏紙使用	○	
		・ミスコピーの防止	○	
		・分別による古紙のリサイクル化	○	
		・両面印刷	○	
		・マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	○	
		・ごみの分別の徹底	○	
		・ペーパーレス会議の推進	○	
4.	水道水の削減	・水道水削減目標説明	○	目標を達成できており、活動を継続する。
		・節水の呼びかけ	○	
5.	グリーン購入	・グリーン購入の周知および購入	×	トータルとして目標値を下回るも、昨年度よりも数値が上がっている。
6.	製品・サービスの削減	・ISO9001 認証継続	○	目標を達成できており、活動を継続する。
		・稼働削減に対する意識付け	○	
		・生産性の向上	○	
		・客先責任者への働きかけ (PJ リーダ、営業サイドより実施)	○	

【評価】： 目標達成：○ 目標未達：× 順期間中：-

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 適用となる主な環境関連法規等

	該当する環境関連法規制	遵守状況
1.	廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理
2.	東京都廃棄物条例	
3.	新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例	
4.	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	2022年10月～2023年9月までに、TV、洗濯機、冷蔵庫、エアコン等の廃棄はなし。

### (2) 違反、訴訟等

当社における関連法規制の違反はありませんでした。過去3年間、関係機関等からの指摘等はなく、訴訟等も1件もありませんでした。

6. 第30期の環境経営目標と計画/責任者(期間:2023/10/~2024/10)

No	環境経営目標		環境経営計画			
	項目	目標値	取組の内容	責任者		
1.	二酸化炭素排出量の削減	“電力使用量削減”	16,520 kg-co2/年	①省エネ目標説明 ②節電運動展開 ③不要照明の消灯 ④使用しない時のPCモニター電源OFF ⑤クールビズ、ウォームビズ運動 ⑥冷房28℃、暖房20℃設定	総務部 佐々木	
		ガソリン使用量削減	3,582 kg-co2/年	①自動車燃料費向上目標の説明 ②アイドリングストップ ③急加速、急停止防止 ④交通状況に応じた速度で、一定速度走行 ⑤冷暖房の控え目使用		総務部 佐々木
		合計	20,102 kg-co2/年			
2.	廃棄物排出量の削減	0.235 kg/人日	①一般廃棄物削減目標の説明 ②裏紙使用 ③ミスコピーの防止 ④分別による古紙のリサイクル化 ⑤両面印刷 ⑥マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動推進 ⑦ごみの分別徹底 ⑧ペーパーレス化会議の推進	総務部 佐々木		
3.	水使用量の削減	啓蒙活動	①水道水削減目標の説明 ②節水の呼びかけ	総務部 佐々木		
4.	グリーン購入の推進	60% “グリーン購入割合”	①グリーン購入の周知及び購入 ※対象:グリーン購入適合品・マーク、GPNデータブック掲載・マーク、エコマーク、非木材紙マーク、牛乳パック再利用マーク、PETボトルリサイクル推進マーク、省エネマーク等	総務部 佐々木		
5.	環境配・サービスの推進 ソフトウェア開発の品質向上による作業工数の削減	-	①ISO9001の認証継続 ②稼働削減に対する動機付け ③生産性向上 ④客先責任者への働きかけ	総務部 佐々木		

## 7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による見直しを2023年10月16日に実施し下表の結果でした。

	項目	見直し有無	評価コメント
1.	環境方針の見直し	無	現時点での活動に問題ないと判断する。
2.	環境目標	無	現時点での活動に問題ないと判断する。
3.	環境活動計画	無	テレワークという新たな業務形態が定着し、自宅等からリモートにて業務を行うことが増えた。そのため会議体はWebで行うことがほとんどとなり、紙媒体での資料配布がなくなったことから、ゴミ廃棄量は削減出来ている。電気消費量の計測においても、次期より実数での計測が可能となったため、より実態の把握が可能となった。適切に対応していく。 (環境管理責任者(総務部長 栄))
4.	環境経営システム的な指示	無	現時点での活動に問題ないと判断する。
5.	全体評価コメント	無	リモートワークの実施により、紙運用が見直されており、実際にコピー用紙の購入量を半減することが出来た。 当社顧客である大手SIerより、環境/CSR対応について様々な依頼がきており、対応が難しい部分もあると考えるが、社会貢献の一環と捉え、精力的に対応していくこと。 (委員長(代表取締役 岩崎))

### ■環境活動レポートに関するお問い合わせ先

株式会社ライターム 経営環境システム事務局

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-28-10 三慶ビル7階

連絡先TEL：03-5287-5900 FAX：03-5287-5910

次回環境活動レポート発行予定：2024年12月 第15号